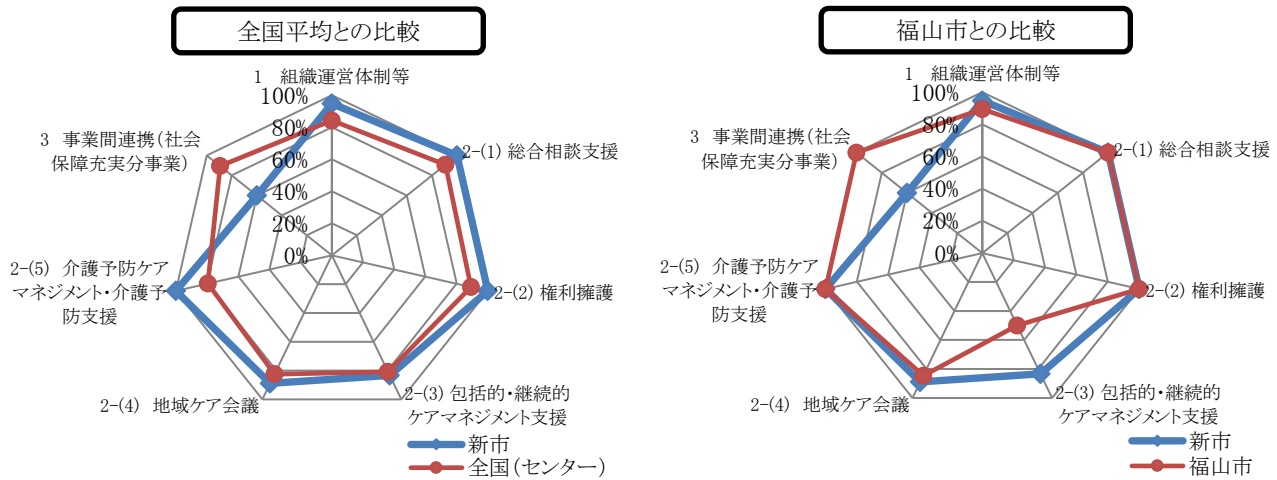


2020年度(令和2年度) 福山市地域包括支援センター新市の事業評価結果の概要

事業委託法人名称	社会福祉法人 新市福祉会
地域包括支援センター名称	福山市地域包括支援センター新市
担当小学校区	常金丸, 網引, 新市, 戸手

※評価対象年度:2019年度(令和元年度)



項番	評価項目	評価内容	平均点数・%
1	組織運営体制等	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置について、三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない。)の一部を配置できていないため改善が必要である。 運営法人による定期的な職員の採用活動により、人員体制の強化を図っている。 介護予防ケアマネジメント、介護予防支援について、三職種の職員一人当たりが担当する支援の件数が市が定める基準を超えていることから、地域活動の充実のために人員体制の改善が望まれる。 	94.7%
2-(1)	総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務について、円滑に実施できている。 アウトリーチによる相談を受ける体制を整え、相談対応を行っている。 多様な福祉分野の機関と連携し、世帯単位での相談対応を行っている。 	100.0%
2-(2)	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待等、権利擁護に関する相談に対して、保健事業実施課や関係機関と連携を図りながら対応できている。 消費者被害に関する情報提供を、介護保険サービス事業所、民生委員、住民主体の通いの場等に対して行っている。 発達障がい等複合的な要因を持つ世帯への課題意識を持っており、関係機関との連携に努めている。 	100.0%
2-(3)	包括的・継続的ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援事業所の連絡会において、主任介護支援専門員を対象とした事例検討会を年間計画を定め企画し、月に1回実施している。 	83.3%
2-(4)	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議(個別)を1回、地域ケア会議(日常生活圏域)を1回開催した。 参加者との議事録の共有や会議後のモニタリング等適正な運用ができています。 	88.9%
2-(5)	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメント、介護予防支援について、三職種の職員一人当たりが担当する支援の件数が市が定める基準を超えているため、是正する必要がある。 交流館(ふれあいプラザ)や住民主体の通いの場への出前講座は実施しているが、一般介護予防事業が実施できていないため、実施に向け検討が必要である。 	100.0%
3	事業間連携(社会保障充実分事業)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者総合相談窓口との連携のため、定例会を月に1回実施している。また、この取組が発展し、多職種連携「顔のみえる関係性」プラトホームづくりの運営に向けて、関係機関と協議している。 認知症カフェ「ガーデンカフェ」を地域の事業所等の関係者と連携し、月1回開催している。 生活支援コーディネーターと連携し、協議体に参加し、生活支援体制の整備に取り組んでいる。 	60.0%